

創立50周年記念式典を開催

神戸学院大学薬学部

臨床薬学教育の一層推進誓う

神戸学院大学薬学部は今年、創立50周年を迎えた。臨床現場で活躍できる薬剤師の養成に重点を置き、薬局や病院のほか、研究機関、製薬企業など業界各方面に9500人を超える卒業生を輩出。設立当初からいち早く薬剤師養成の方針を打ち出し、臨床薬学教育の重要性が問われる現代に先駆けてその実践を進めてきた。先人の精神や築いてきた基盤を継承し、環境変化に対応した薬学教育を一層進める考えだ。

神戸学院大学は1966年に米養学部のみ単科大学として創立された。現在10学部、学生数1万人以上を擁する文理総合大学へと発展している。

薬学部は大学設置段階で構想に組み込まれ、米養学部、法学部、経済学部が続く4番目の学部として72年に開設。83年3



西本理事長

て教育カリキュラムを考案し、その実践に先行的に取り組んできた。2007年には薬学部は医療産業都市にある神戸ポートアイランドにキャンパスを移転し、同じ医療産業都市に立地する医療機関

月まで初代薬学部長を務めた川崎近太郎氏は米

国の臨床薬学教育を日本でも実現しようと薬剤師養成に重点を置いて重きを置いて、高度な専門



卒業生や関係者らが参加



屋山薬学部長



中村学長

次世代担い活躍できる人材に

の対して、新しい医薬品の開発や医療体系に対応できるように、生物学、微生物学、生理学などに基礎を置く生物薬学化学なる薬学教育を実施するものだった」と説明した。

薬学部の社会的使命について「医学の進歩に対応できる高度な専門職業人としての薬剤師を輩出し、医療薬学分野で次世代を担い活躍できる人材を育成して社会に貢献したい」と強調。次世代の人たちが次の100周年を祝うことができるよう「祈念する」と式辞を述べた。

神戸学院大学薬学部長



木原病院長

式典後に講演会も

式典後には講演会を開催。教育や研究に関する

連携協定を結ぶ神戸市立医療センター中央市民病院院長の

木原康樹氏が登壇し、同病院の機能や役割などを紹介した。

同病院や神戸学院大学薬学部な

の屋山勝俊氏は、初代薬学部長を務めた川崎氏らが現在の薬学教育に先駆けて臨床教育を重視する方針を打ち出していたことに敬意を表明。「薬学教育は50年前に学部創設メンバーが描かれた方向に大きく舵を切った。当時の先生方の先を読む方にたたいた敬服するばかり。学部創設に関わられた先生方の志を大切にしたい。今一度、薬剤師、薬学教育と真摯に向き合い、教職員一丸となれるよう連携したい」と語った。

薬学教育を取り巻く環境の変化にも言及し、「地域医療に貢献した社会に役立つ高い質を持った薬剤師を育成するために私たちがなすべきことは何か。真摯に向き合い、よりよい学生を育てられるように、安全で質の高い医療を提供できる薬剤師を育成するべく検討を進めている。今後とも貴学がこれまで築いてきた輝かしい伝統を継承、

少、社会が求める人材のニーズの変化など、大学教育をめぐる現状は大きく変わろうとしている。これから薬学部求められるものも変わっていく。これからは薬学部にとっても求められるものも変わっていく。これからは薬学部にとっても求められるものも変わっていく。これからは薬学部にとっても求められるものも変わっていく。

日本私立薬科大学協会会長の井上圭三氏は神戸学院大学薬学部の教育方針について「開設以来、クリニカルファーマシーを明確な目標として教育を実践してきた。薬学はこれまで以上に臨床現場で有用な薬剤師の養成が意識されることとなる。貴学は開設当初から医療現場で役割を果たす薬剤師の養成を主眼として取り組んできた。50周年を迎えた今日までそれが継続されていることに深く敬意を表する」と語った。

約360の企業、団体が集積する医療産業都市の発展などにも尽力する考えを提示。「新しいものの創造と発明を実践し、社会に実装していくために必要な全ての条件がここポートアイランドには揃っている。神戸学院大学薬学部と当院との密接な連携をさらに進め、医療産業都市の発展に不可欠な要素となるべく、あらゆる努力をしていきたい」と語った。

薬学部は2022年に50周年を迎えました

これからも地域に根ざした医療貢献を目指して
薬剤師教育を行います



神戸学院大学
KOBEGAKUIN UNIVERSITY

●ポートアイランドキャンパス ●有瀬キャンパス ●神戸三宮サテライト
薬学部/法学部/経済学部/経営学部/人文学部/心理学部/現代社会学部/栄養学部
グローバル・コミュニケーション学部/総合リハビリテーション学部/大学院
https://www.kobegakuin.ac.jp/ TEL:078-974-1551(代表)